

第10回地域緩和ケア講演会 (PINKの会)のご案内

Palliative care Interactive Network in Kawagoe

平素より当院の運営に対してご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。
今般、当院職員ならびに学生、地域の医療機関関係者を対象としまして地域緩和
ケア講演会を下記の通り開催することとなりました。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、奮ってご参加いただきますようお願い
申し上げます。

誠に勝手ながら、本講演会へご参加希望の方は下記QRコードより7月31日までに
お申し込みをお願いいたします。

日 時：令和8年8月5日(水) 18時～19時30分

場 所：埼玉医科大学総合医療センター5階小講堂

演 題：ケアの入り口をデザインする

ー医療従事者以外だからこそできることー

講演者：東京藝術大学大学院美術研究科 中澤 希公 氏

司 会：埼玉医科大学総合医療センター緩和医療科 儀賀 理暁

中澤希公(なかざわ きく)氏について

中澤 希公氏は東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻修士2年。
慶應義塾大学環境情報学部卒業。14歳で母親を亡くした経験をきっかけに、死別や喪失、
ケアをテーマとした研究やアートプロジェクトに取り組んでいる。

これまでに200名以上の死別経験者へのインタビューを行い、その声をもとに「死んだ母の
日展」や「葬想式」などのプロジェクトを企画。アートやデザインを通して、普段は語ら
れにくい悲しみや喪失について、自然に対話できる場づくりを実践している。2024年には
英国のUniversity of the Arts London (Central Saint Martins) へ留学。卒業設計「さようならの
散歩道」では榎文彦・伊藤滋賞およびSFC学会金賞を受賞し、「死んだ母の日展」「葬想
式」は2022年・2023年のGOOD DESIGN NEW HOPE AWARD優秀賞を受賞した。

お申し込みはこちらから
お願いします↓↓↓



事務局

埼玉医科大学総合医療センター

緩和医療科

大西 奈緒子

n_onishi@saitama-med.ac.jp

